

# 史跡の恒久保存と活用で観光資源化

## 利神城跡整備基本計画がめざすもの

●利神城跡整備基本計画策定委員会名簿 (敬称略)

◆専門委員 (7人)

所属機関・職	氏名	専門分野
大阪観光大学教授	小野 健吉	史跡整備
金沢城調査研究所名誉所長	北垣聡一郎	石垣
関西大学名誉教授	西形 達明	地盤工学
京都府立大学大学院教授	福井 亘	環境・景観
明石工業高等専門学校教授	水島あかね	建築
兵庫県立歴史博物館長	藪田 貫	歴史文獻
兵庫県立考古博物館 名誉学芸員	山上 雅弘	山城研究



▲11月27日に開催した第1回策定委員会

◆地元及び関係者委員 (7人)

佐用町観光協会会長	北村 広樹
佐用町文化財保護審議委員会会長	竹本 敬市
平福文化と観光の会会長	五名 和雄
大字平福管理委員会会長	中島 基生
平福地域づくり協議会会長	中野 直樹
佐用山城ガイド協会会長	春名 政男
智頭急行株式会社運輸部次長	西尾 和彦

### ◆利神城跡の活用で地域再生

2019 (平成31) 年に改正文化財保護法が施行され、文化財活用の時代の幕が開きました。これまでは「文化的な価値の向上」を目的に文化財の保存・継承が行われてきました。今後は、これに加えて地域再生につなげるために、文化財の活用に取り組むことを求められています。利神城跡の整備にあたって重要な課題は不安定な石垣遺構の整備です。このため、「石垣を非解体を原則に、よりよい現状保存を図る」ことを原



NO 9  
2023  
令和5年12月

# 国史跡 利神城かわら版

編集・発行  
佐用町教育委員会教育課  
〒679-5380  
兵庫県佐用郡佐用町佐用2611-1  
☎0790-82-2424

### ◆保存・整備上の主要課題

利神城跡の石垣遺構の保全と活用には、次のような課題があります。

- (1) 民有地の公有地化
- (2) 史料及び遺構の調査・研究
- (3) 「石垣維持管理」の仕組みづくり
- (4) 主郭部の整備と管理に不可欠なアクセス手段の整備
- (5) 石垣の変状をモニタリングするシステム導入と石垣カルの更新
- (6) 遺構保存と景観確保及び来訪者の安全を考慮した樹木の管理
- (7) 石垣の背面構造把握と雨水管理

則として、石垣整備の方法を明確に示した上で、活用を図ることによって地域力を生み出す未来像とその道筋を提示する『利神城オリジナル』の計画を策定することを基本方針とします。整備面では、史跡の保護と公開に向けた安全確保のため、城郭全般の遺構確認調査を急ぎ、山城地区においては主郭部の石垣と基礎地盤の安定化工事を、御殿屋敷地区については実態解明に基づく遺構整備を、ともに優先的に実施すべき事業として詳細な計画を策定します。

### ◆管理・運営上の主要課題

史跡の保全は長年、地元による継続的で献身的な美化活動に支えられています。今後、運営面においては、地域住民の減少を踏まえ、史跡を未来に継承していく事業手法、観光資源化につなげる方策を打ち出すことが大きな課題であり、整備基本計画の策定と併せて、次の4項目を中心に具体的な計画をまとめていきます。

- (1) 広範な史跡全体の草刈り・美化、樹木伐採など維持管理の体制づくり
- (2) 持続的な整備・運営を行うため、国県補助金のみには依存しない自主財源の調達に向け、新たな産業を生み出す観光資源化の仕組みづくり
- (3) 地域の歴史文化を学ぶ場の創出と利神城ファンの育成
- (4) 地域内外の観光ネットワークの構築と情報発信

町は、利神城跡の確実な保存と適切な活用を図るため、整備基本計画づくりに着手しました。策定にあたっては、石垣や史跡整備、景観、地盤工学、建築などの専門家と地元関係団体で構成する委員会を設置。第1回会議を11月27日に開催しました。令和7年度を目標に整備と管理の事業計画を立案します。本号では、町の策定方針と主要な検討課題についてお知らせします。